



高生の丘

北九州市立高生中学校

学校通信 7月号 No.1

発行責任者 校長 木村 康晴

TEL 881-3276

平成25年7月4日発行

1学期の主な行事、すべて終了

平成25年度が4月にスタートして、早や3か月がたちました。高生中学校では、1学期に各学年とも大きな行事がありましたが、いずれも無事、成功に終わったと言えます。今後は、学年ごとにまとめた成果と課題を生かす取り組みに期待しています。

さすが3年生。修学旅行、笑顔の解散式



3年生は、中学校での最大のイベント、修学旅行が実施されました。5月29日(水)～31日(金)の2泊3日。初日は新神戸から淡路島へ渡り、北淡震災記念公園へ。阪神淡路大震災の現実と避難行動の大切さを学びました。

この旅行での最大の課題は、班別行動が成功するかどうか。この日のために1年生の段階から、様々な集団行動を訓練として行ってきました。

その結果、大変まとまりのある班別行動ができ、体育大会や文化祭で、最上学年としての役割を果たす準備ができたことを感じました。さすが3年生。

また、右の写真のような超高層ホテルに宿泊し、バイキング形式で高級感のある夕食を満喫することができました。



部屋も様式で、ユニットバスにベッド。生徒にとっても良い経験ですが、畳の大部屋で布団をならべて・・・という私が学生の頃とは、大違いですね。

百の知識より一度の経験！ 2年生、介護・保育体験活動



2年生は、高齢者福祉施設や、保育園、保育所での介護・保育体験学習を3年生の修学旅行期間中に実施しました。この体験学習の目的は、思いやりと奉仕の精神を育むことにあります。普段接することが少ない高齢者や幼児と様々な活動を共にし、自ら

の体験を通して、人を援助する上で大切にすべき姿勢や視点を体験的に学習するものです。上の写真は、事前学習の様子です。車いすの補助の仕方



や、おもりなどを付けて高齢者疑似体験、折り紙学習などを行いました。



上の写真は保育園、左の写真は高齢者施設での活動の様子です。生徒たちの表情も、なかなか学校では見られないものがありますね。この取組は、この時だけで終わらず、

高齢者施設や保育施設との交流を様々な形で継続させていくことを学年としても考えています。

名実ともに中学生に・・・1年生ふれあい合宿

小学生気分がなかなか抜けない1年生でしたが、このふれあい合宿で一気に高生中学生になりました。まず、中学生としての生活規律。特に、集団行動のルールや話を聞く時の態度などが、随分とよくなりました。



元々、大変元気なよい雰囲気をもっており、あいさつなどは大変元気な声でできていたので、このふれあい合宿で学んだことを実際の学校生活でもしっかりと生かし、日頃の授業中の態度をはじめ、学校生活全般がもっとよくなるように頑張ってほしいです。写真は、キャンドルサービスです。火の女神は、●●さん。火の神は教頭先生が務めました。はまり役ですね。